

数学

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

解答形式

①は小問集合で客観式。②、③、④は記述式。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

昨年と比べると、①の客観式が多少易しくなったが、記述式にやりづらい問題が増えた。

出題の特徴や昨年との変更点

例年、①の客観式には、推測や予想が必要な問題が出題される。

記述式の問題には、計算量が多めの問題が多い。

その他トピックス

小問、分題も入れると、最大・最小の問題が7題も出た。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度	
①	(1)	整式の微分 図形と方程式	数学Ⅱ 数学Ⅱ	ある点から放物線に引いた2本の接線の接点と原点のなす三角形。その面積の最大値。	やや易
	(2)	確率	数学A	赤玉と白玉をある規則で取り出す試行の確率。	易
	(3)	数列 複素数平面	数学B 数学Ⅲ	連立漸化式。複素数で捉えられたら等比数列になるが、他にも帰納法などで解くこともできる。	やや難
	(4)	平面図形 2次関数	数学A 数学Ⅰ	直角三角形の周上を動く3点のなす三角形の最大値。すべての場合を網羅しようとするの大変。	やや難
②	微分 三角比	数学Ⅲ 数学Ⅰ	三角形の内部の点から各頂点への距離の和と、各辺への距離の和の比に関する問題。	やや難	
③	微分・積分	数学Ⅲ	定点から対数関数上の点への距離の最小値。 回転体の体積および、その体積の最小値。	標準	
④	図形と方程式 2次方程式	数学Ⅱ 数学Ⅰ	ある点から円周上の点への距離。 2つの2次方程式の実数解の個数に関する問題。	やや難	

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

易しい計算問題も出題されるが、思考力や計算力を問われる標準以上の問題が多い。標準的な問題集をしっかりと学習するのはもちろん、過去問を参考にして、難易度の高い問題にも積極的に取り組むようにしよう。

①の小問集合の中に難しい問題が出題されがちなので、要領よく答にたどり着くようにしたい。思考力を要する問題を試験の際に解けるようになるためには、普段から自分で色々なことを試して考える習慣が必要だ。